

第1回災害支援いばらきネットワーク会議 ～多様な主体連携と情報共有～

趣旨：

平成28年熊本地震、昨年度の西日本豪雨災害等において、行政・NPO・ボランティアの三者連携による「情報共有会議」が開催されてきた。内閣府も三者連携を推奨し、各地で研修会を開催している状況である。被災地からも、情報共有会議あるいはネットワーク会議は被災者支援等において有効とされており、台風19号被災を受けて茨城県内の情報共有会議の実施が必要とされている。

本ネットワーク会議では、他地域の先行事例をもとに、茨城県内で台風19号被災後の情報共有会議の目的を共有し、効果的な実施体制について意見交換を行う。

主催：

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会、認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ

共催：

茨城大学人文社会科学部市民共創教育研究センター

協力：

茨城県保健福祉部福祉指導課

日時：

2019年10月29日（火）16時～18時

場所：

茨城県総合福祉会館3階 多目的ホール
茨城県水戸市千波町1918 TEL029-243-3805

対象：

台風19号被災に関し、茨城県内で支援活動を行っている行政・社協・団体・個人

日程：

- 16:00 開会・挨拶
- 16:10 関係者の自己紹介（15分）
- 16:25 報告1 情報共有会議の意義
茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田能洋 氏（15分）
- 16:40 報告2 茨城県内の各災害ボランティアセンターの状況報告
茨城県社会福祉協議会 福祉のまちづくり推進部 部長 中村英一 （30分）
- 17:10 質疑応答（15分）
- 17:25 今後の支援に向けて～情報共有と意見交換（15分）
- 17:55 閉会